

令和 7(2025)年度

事業報告書

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで

一般財団法人 日本サイクルスポーツセンター

概 要

2025 年は、緊迫化する世界情勢、加速する物価上昇の中、コメ騒動やクマ騒動のほか、大阪・関西万博の開催（4 月～10 月：累計総入場者 約 2, 900 万人）、修善寺時之栖「百笑いの湯」の休業（7 月 10 日から無期限）、夏休みの出端をくじくカムチャツカ半島沖地震の発生（7 月 30 日：M8. 7、津波警報発令）、静岡県内最高気温の更新（8 月 6 日：41. 4℃）、大型台風の襲来（9 月 5 日：場内法面崩落）など、本センターの事業運営にも大きな影響を及ぼすような、数多くの出来事や自然災害が起こった。加えて、MLB 大谷翔平選手の活躍、日本選手が 24 個のメダルを獲得したミラノ・コルティナ冬季五輪、惜しくも準々決勝で敗退した WBC 侍ジャパンなど、スポーツの持つ熱量と素晴らしさを再認識させられた一年でもあった。

一方、営業再開後 4 年目を迎えた本センターに目を向けると、2022 年から 99 千人、100 千人、108 千人と推移してきた年間一般有料入場者は 113,778 人まで持ち直し、近年、年間 7 千人前後まで落ち込んでいた合宿所サイテルの宿泊者も 8,576 人まで回復したものの、目標数字である 13 万人と 1 万人を達成するまでには至らず、厳しい事業運営が続いている。

自転車競技に関しては、自主大会の企画・開催のほか、第 25 回夏季デフリンピック競技大会・自転車競技（ロード、MTB）を始めとする国内外自転車競技大会の受入れ、伊豆市レガシー創出事業／自転車まちづくり事業・「BICYCLOOP 伊豆」の立上げなど地元行政と協働したオリンピック・パラリンピックレガシーの活用促進、アジアサイクリングセンターやナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点としての活動を行い、その普及及び発展に努めた。

本年度に実施した主な事業は、次のとおりである。

- 有料入場者 13 万人の実現に向けた誘客策の実施（集客イベント及び PR の強化、大手健康保険組合との施設利用契約締結、割引誘客企画の実施、地元幼稚園・保育園向け誘客企画の実施ほか）
- オリンピック・パラリンピックレガシーの活用（自転車競技大会の開催・受入れ、地元行政と連携した自転車競技の振興、アジア・アジアパラ競技大会の受入れ調整ほか）
- 運営体制の見直し（給与処遇の改善、求人計画の策定、専門的職種のアウトソーシングに関する検討、飲食・物販料金及びサイテル宿泊料金の見直しほか）

なお、一部事業の実施にあたっては、公益財団法人 JKA から、公益事業振興資金（自転車競技の普及促進及び競技力の向上に資する事業、自転車・モーターサイクル競技施設の補修事業、自転車競技場を中心とした自転車の普及促進のための総合的な施設の補修事業）の補助を受けた。

1. 入場者及び施設利用者

令和7年度の入場者（一般有料入場者）は、異常気象や物価高騰、少子高齢化などの影響を受け、最終的には113,778人となり、対前年で4,814人増加したものの、目標である13万人を達成するには至らなかった。

四半期別にみると、第1四半期は、目標39,000人に対し、実績30,648人（8,352人の減、達成率78.6%）－春休み期間中の雨（4月1日・3日）、GWの日並びと四連休最終日の雨（5月6日：入場者0人）、GW後四週に亘り週末が雨に見舞われたことによる減。第2四半期は、目標35,000人に対し、実績24,926人（10,074人の減、達成率71.2%）－猛暑（平均最高気温：7月33.0℃・8月34.0℃・9月31.2℃、熱中症警戒アラート：40回発表）、シルバーウィークの日並びの影響による減。第3四半期は、目標25,000人に対し、実績29,869人（4,869人の増、達成率119.5%）－10月期は土日が雨天に見舞われて大きく目標を下回ったものの、デフリンピック関係者5,775人の入場、ロータリークラブ地区大会1,150人の受入れ、年末期間の入場者が好調だったことによる増。第4四半期は、目標31,000人に対し、実績28,335人（2,665人の減、達成率91.4%）－正月期間の日並び（1月5日：多くの企業が仕事始め）、1月後半の寒波、2月の雪や雨、春休み期間中の雨（3月30日・31日）による減。

一方、施設利用に関しては、平均が6.9施設／人（前年度7.0施設／人）でほぼ横這い、人気ベスト5の顔ぶれは前年度と同じで、サイクルコースター、おもしろ自転車、スカイローラー、サイクル立体迷路、サイクルゴーランドの順となった。また、令和5年度に導入したサイクルスインガー、サイクルジャンパー、ステンレス製ジャングルジムも引き続き、多くの来場者にご利用いただいた。

なお、詳細は（別表1-1）月別入場者、（別表1-2）入場者内訳、（別表1-3）施設利用者内訳のとおりである。

2. サイクルスポート施設の運営等に関する事業

（1）サイクルスポーツ施設の運営

5キロサーキット、伊豆MTBコース及び伊豆ベロドローム等の自転車競技施設を一般利用や大会・合宿の場に供し、サイクルスポーツの普及とオリパラレガシー施設の活用推進に努めた。特に、11月に開催された「東京2025デフリンピック」では、自転車ロード競技とマウンテンバイク競技の会場として、5キロサーキット、伊豆MTBコースが利用され、世界各国のデフアスリート達が熱戦を繰り広げた。

この他、5キロサーキットは、スペシャルオリンピックス日本・静岡の自転車プログラム会場、伊豆MTBコースは、静岡県自転車競技連盟のユースタレント発掘育成事業／パスイウェイ事業会場、伊豆ベロドロームは、オリ・パラナショナルチームの専属トレーニング会場等としても提供を行った。

なお、開設から14年が経過した伊豆ベロドロームについては、公益財団法人JKAからの補助を受けて、トップライト部のシール更新工事・中央監視装置の機器交換工事・電気計時システムの更新工事等の補修整備を実施した。

(2) 屋内スポーツ施設の運営

室内フットサル場及びウエイトトレーニング場等の屋内スポーツ施設については、地域スポーツの場、学校団体やサークルのスポーツ合宿の場、BMX ナショナルチームのスタート練習を始めとするトレーニングの場として提供した。

(3) 野外活動施設の運営

DAY キャンプ場については、飯盒炊飯による集団共同作業や自然体験活動の場として、学校団体の遠足や移動教室等での利用に供した。

(4) 合宿所サイテルの運営

合宿所サイテルについては、自転車競技者の強化合宿や一般学生のスポーツ合宿等の団体客をメインターゲットに販売促進活動を展開した結果、年間宿泊者は、「東京 2025 デフリンピック」の大会関係者 213 人を含め、8,576 人（対前年 1,625 人の増、123.4%）で、復調の兆しはあるものの、コロナ禍前の水準には戻っていない状況である。

一方、個人客に関しては、昨年度より導入している、クレジットカード・交通系 IC カードに対応可能な決済システムが好評であったほか、CSC チケット特別割引企画「サイ得」については、年間を通じて実施した結果、859 人の利用があった。

なお、本施設についても、公益財団法人 JKA からの補助を受けて、宿泊棟トイレのバリアフリー化工事・研修棟屋上の防水改善工事等の補修整備を実施し、利便性の向上と施設の健全維持に努めた。

(5) その他の事業

自転車競技施設及びトレーニング施設の貸与、各種自転車及び関連機材の貸出し、企業広告看板掲出場所の提供のほか、伊豆ベロドロームエントランス及び管理棟展示ロビー等において、各種競技用自転車やオリンピック・パラリンピック関連の紹介・展示を行った。

3. 自転車競技及びサイクルスポーツ等を普及促進する事業

(1) アジアサイクリングセンター（RDS 修善寺）の運営

ア. 国内トレーニングキャンプ

アジア地域における自転車競技の発展に寄与することを目的に、アジア各国から将来を期待されるトラック競技者及び指導者を募り、年 2 回、2 週間に亘る徹底した基礎的なトレーニングを実施したほか、公益財団法人 JKA の助成事業を活用し、台湾チームと J-STAR プログラムの参加者を対象としたトレーニングキャンプを実施した。本年度における開催は、次のとおりである。

[第 1 回国内トレーニングキャンプ]

開催期間：令和 7 年 6 月 24 日～令和 7 年 7 月 7 日

参加者：4 カ国 — 31 名（選手 25 名、コーチ・スタッフ 6 名）

中華人民共和国（上海） 8 名（選手 5 名、コーチ 3 名）
チャイニーズタイペイ 2 名（選手 1 名、コーチ 1 名）
香港チャイナ 1 名（選手 1 名）
日本 20 名（選手 18 名、コーチ・スタッフ 2 名）

※日本選手には J-STAR タレント 7 名、パラ 2 名を含む。

※参加希望のあったサウジアラビアについては、中東情勢の急変により不参加となった。

[第 2 回国内トレーニングキャンプ]

開催期間：令和 7 年 10 月 28 日～令和 7 年 11 月 10 日

参加者：3 カ国 — 33 名（選手 30 名、コーチ・スタッフ 3 名）

チャイニーズタイペイ 2 名（選手 1 名、コーチ 1 名）

香港チャイナ 3 名（選手 3 名）

日本 28 名（選手 26 名、コーチ・スタッフ 2 名）

※日本選手には J-STAR タレント 5 名、パラ 7 名を含む。

[日台友好 J スタープログラムトレーニングキャンプ]

開催期間：令和 7 年 8 月 1 日～令和 7 年 8 月 5 日

参加者：2 カ国 — 12 名（選手 9 名、コーチ・スタッフ 3 名）

チャイニーズタイペイ 8 名（選手 5 名、コーチ・スタッフ 3 名）

日本（J-STAR タレント）4 名（選手 4 名）

イ．WCC 及び各国サテライトセンターとの関係強化

WCC 主催の WEB ミーティングに参加し、各サテライトセンターの現状や 2026 年度の活動方針・計画等を確認するなど、今後の事業展開について、情報の共有と意思の疎通を図った。

また、現状における RDS 修善寺の活動内容に対し、評価・指導を受けた。

- ・ WCC End of Year Meeting with all Satellites 令和 7 年 11 月 26 日
- ・ WCC Individual Meeting 令和 8 年 2 月 20 日
- ・ Satellite Manager Meeting 令和 8 年 3 月 16 日

(2) 自転車競技大会及び合宿の開催と受入れ

ア．自転車競技大会

5 キロサーキット及び伊豆ベロドロームを活用し、CSC クリテリウムシリーズや Challenge The Izu Velodrome 等の自転車競技大会を企画・開催した。

また、「東京 2025 デフリンピック」を始め、「2025 ジャパン・トラック・カップ」、
「2026 ジャパン・マウンテンバイク・カップ in 伊豆 MTB コース」の国際大会や、他団体が主催する様々な自転車競技大会を招致し、その開催にも協力した。

[主催大会]

開催件数：13 件

参 加 者：1,336 名 ※一輪車大会含む

[他団体の大会]

開催件数：24 件

参 加 者：3,807 名

なお、詳細は（別表 2）自転車競技大会一覧のとおりである。

イ．自転車競技合宿

大学や高等学校の自転車競技部、日本ろう自転車競技協会、スペシャルオリンピック日本・静岡を含む各種自転車競技団体等、延べ 220 件 2,265 名の自転車競技者を誘致し、伊豆ベロドローム・400 メートルピスト・333 メートルピスト・5 キロサーキット、伊豆 MTB コースなど自転車競技施設での合宿を受け入れた。

また、スケート・ショートトラック等のクロストレーニング合宿の受入れも行った。

（3）伊豆サイクルスポーツクラブの運営

原則として、毎月 3 回、400 メートルピストや伊豆ベロドロームを開放してトラック競技の練習を行い、年間 32 回で、延べ 663 人の参加があった。

同クラブは、平成 16 年に活動を開始し、全国のロールモデルとして、性別、年齢、目的及び自転車競技経験の有無を問わず、トップ競技者を目指す者のほか、キッズクラスからマスターズ世代に至るまで幅広い層を対象にしており、特に、小中学生等若い世代の会員に対しては、自転車の基本的な乗車スキルを指導している。令和 7 年度は、小学生を中心に、競技体験希望者も受け入れることができた。

（4）自転車スクールの開催

自転車愛好者の底辺拡大を図るため、自転車に乗れない女性を対象にした 1 泊 2 日の乗り方教室を 3 回、小学生を対象にした日帰りの乗り方教室を 3 回開催した。

また、オリンピック用に設計された世界屈指のコースである、伊豆 MTB コースを活用し、小中学生を対象にした 1 泊 2 日の MTB ヤングキャンプを開催し、競技者の底辺拡大とタレントの発掘に努めた。

なお、詳細は（別表 3）自転車スクール及び競技指導内容一覧のとおりである。

（5）各種イベントの開催

ア．自転車普及イベント

静岡県一輪車連盟との共催により、年齢・性別を問わず楽しめ、特に子供たちに人気の高い一輪車のイベントを開催して、自転車愛好者の底辺拡大及びサイクルスポーツの普及に努めた。

・第 10 回静岡オープン一輪車駅伝大会／ミニマラソン（6 月）

※天候不良により令和7年2月2日から開催日程を変更

- ・第20回CSC3時間耐久一輪車レース大会（9月）
- ・第33回静岡県一輪車新春マラソン大会（1月）
- ・第11回静岡オープン一輪車駅伝大会／ミニマラソン（2月）

なお、詳細は（別表4）イベント開催内容一覧のとおりである。

イ. スポーツ健康事業

5キロサーキットにおいて、クリスマスシーズン恒例の「伊豆サンタマラソン」を企画し、スポーツへの参加機会増大と同サイクリングコースの認知度向上を図った。

- ・第17回伊豆サンタマラソン（12月）

なお、詳細は（別表4）イベント開催内容一覧のとおりである。

（6）自転車競技の地域普及啓発活動

静岡県立伊豆総合高等学校の体育科目選択授業の場として、伊豆ベロドロームや400メートルピストを提供し、トラック競技の技術指導を行ったほか、トップアスリートの育成を目的に三島市が主催する「みしまジュニアスポーツアカデミー事業」に関しては、第9期生に対する競技体験及びワットバイクを使用したトレーニングの指導を行った。

このほかにも、伊豆市が主催する「ランニングバイク出前教室」に指導協力を行うなど、伊豆地域における自転車の普及啓発に努めた。

なお、詳細は（別表5）自転車競技体験プログラム一覧のとおりである。

（7）自転車を活用したクロストレーニング並びに健康促進事業の実施

トヨタ自動車スケート部（ショートトラック）等他競技のアスリートに対し、自転車の特性を活かしたクロストレーニングの受入れや出張指導を実施した。

また、ワットバイクを利用した競技者層拡大事業にも積極的に取り組み、本センター内に止まらず、各地にも出向いてデモンストレーションや指導協力を行った。

（8）ナショナルトレーニングセンター（NTC）競技別強化拠点の機能強化

オリンピック・パラリンピック両競技のNTC自転車競技強化拠点施設として、スポーツ庁との委託契約に基づき、ナショナルチームの強化やジュニア競技者の計画的な育成を行うための施設の専有利用及びトレーニング施設の競技環境の向上並びに情報ネットワークの構築等、競技力向上のための各種サポートや機能強化事業を行った。

なお、本事業の実施にあたっては、スポーツ庁からの指導に基づき、医科学の協力及び地域振興の観点から、JKA（日本競輪選手養成所）や静岡県、伊豆市等のステークホルダーとコンソーシアムを形成して対応した。

また、拠点の課題解決に向けて専門家がコンサルティングする機能強化ディレクター制度を利用し、10月にスポーツコンサルの専門家と契約、12月から本格的に自転車NTCが持つ課題などの洗い出し・分析に着手した。

4. サイクルスポーツに必要な自転車等に関する研究

前年度に引き続き、5キロサーキットの利用者に注意を喚起するため、下り坂部に「スピード落とせ」の掲示板を設置し、事故防止に努めるとともに、過去のデータと比較し、注意看板の効果的な設置位置や設置効果を検証した。

また、5キロサーキット、ファミリーサーキットにおいて、利用者にレンタル自転車や自転車用ヘルメットに関するアンケート調査を行うとともに、希望者に最新型 E-BIKE（電動アシスト自転車）の試乗アンケートを行い、E-BIKE に関する意見を取りまとめ、メーカーに結果をフィードバックした。

5. サイクルスポーツ施設に付帯する施設等の運営に関する事業

（1）自転車関連施設・遊戯施設の運営

“安全性の確保”と“満足度の向上”を念頭に置き、ファミリーサーキット、おもしろ自転車、サイクルモノレール等の自転車関連施設及びサイクル立体迷路、サイクルコースター、スカイローラーを始めとする遊戯的施設等を一般へ提供した。

その中で、夏季の「水遊び広場」については、アクアチューブや大型エアースベリ台を新たに導入するとともに、バラエティに富んだアニマルフロートの貸出し、休憩テントの増設、泡や放水イベントの実施、地元幼稚園・保育園向けお試しチケットの配布等により利用者の増員に努めた。

なお、安全で快適な施設を提供するため、定期的に安全対策委員会・場内環境整備作業を実施するとともに、暑さ対策として、簡易休憩所の増設、ミスト設備の設置、日傘の無料レンタル等のサービスを行った。

（2）販売促進活動

静岡県内並びに首都圏の大手又は送客実績のある旅行代理店をターゲットにした定期セールスを実施し、団体利用客及び団体宿泊客の誘致に努めた。

また、個人客対策としては、孫と一緒に来場される祖父母や、14 時以降に来場されるお客様向けの割引企画を策定するなど、インパクトのある誘客対策を施した。

そのほか、伊豆半島一円の宿泊施設や近隣幼稚園・保育園を対象にパンフレットの配布・イベント情報の提供などを行うとともに、関東 IT ソフトウェア健康保険組合（契約締結完了、5 月から始動）、東京自転車健康保険組合（契約締結完了、令和 8 年 4 月から始動予定）と施設利用契約の交渉を進め、目標入場者達成の一助とするための環境を整えた。

（3）収益的な施設の貸与

可能な限り一般営業や自転車合宿との調整を図り、サーキットコース等で収益性の高い商業撮影やモーターイベントを受入れるなど、収益の増大を目的とした施設の貸与事業も行ったが、新車発売のタイミング等の問題もあり、本年度は需要が少なく、関連収

入は以下のとおりで、前年度実績も、予算額も下回る結果となった。

〔撮影・イベント〕

件 数：13 件

収 入：12,843 千円

（４）集客イベント及びPR活動

集客の目玉として、行楽時期に合わせ、サイクルカーニバルを企画・開催し、延べ 14 日間で 24,533 人（一日平均 1,752 人）の入場者があった。

GW：3 日（キャラクターショー2 日、餅まき 1 日）

夏季：3 日（お笑いライブ 3 日）

秋季：2 日（キャラクターショー1 日、餅まき 1 日）

正月：3 日（餅まき 2 日、抽選会 1 日）

春季：3 日（お笑いライブ 2 日、バルーンショー1 日）

このほか、週末には、おもしろ自転車レースやドリフト自転車レース等のミニイベントを数多く実施するとともに、ハロウィンやクリスマスのシーズンには、場内に隠されたキャラクターを探すイベントなども企画し、サービスの向上とリピーターの確保に努めた。

PR については、本センター公式ホームページを活用し、自転車の国に関する様々な情報を提供するとともに、X（旧ツイッター）やインスタグラムなどの SNS により、自転車競技大会・イベント・季節毎の見所・各施設の営業状況等をいち早く発信した。このほか、イベント告知に関しては、テレビ CM・新聞・チラシ等による広告宣伝も併せて実施した。

パブリシティに関しては、地元のメディアに対し積極的に情報をリリースした結果、静岡新聞・伊豆日日新聞・テレビ静岡を始め様々な媒体で、サイクルカーニバルや水遊び広場、伊豆サンタマラソン、各種一輪車レース、RDS トレーニングキャンプ、MTB ヤングキャンプ等の様子を紹介いただくことができた。また、11 月に開催された「東京 2025 デフリンピック」についても、多くの県内マスメディアで機運醸成や大会の様子が取り上げられた。

なお、詳細は（別表 6）広報宣伝活動内容一覧のとおりである。

（５）営業体制の見直し

本年度も、繁忙シーズンには 27 日の特例日を設け、営業時間の延長を実施したほか休園日であっても団体予約が入った場合には臨時営業を行うなど、お客様ファーストで臨機応変な対応を行った。

一方、一般シーズンの平日には極端に利用者の少ないパターゴルフコースについては、平日の月曜日及び火曜日の営業を休止するなど合理化を図った。

そのほか、諸物価の高騰を受け、レストラン富士見等の飲食料金及びサイテルの宿泊料金について見直しを行い、令和 8 年度より値上げを実施することとした。

6. 飲食等付随するサービス事業

通年営業の「レストラン富士見」を核として、週末にはファミリーエリアの「エルポート」、夏季には水遊び広場に隣接した「サンフレンド」、また、GW 期間には「さいくる」や「キッチンカー」を開設するなど、繁閑に合わせた飲食サービスを展開した。

各飲食店舗では、ラーメン・そば／うどん・カレーライスを始めとする定番メニューに加え、三島コロッケ・いとう漁協のサバ／イカすり身・あしたか牛のメンチカツなど地場食材を取り入れたローカルメニューや、浜焼き・焼いも・おでん等の季節メニューも提供を行った。

このほか、昨年度から開始したナショナルチームメンバー用の昼食についても、管理栄養士監修のもと、レストラン富士見で定期的にアスリート用メニューを提供し、選手の昼食事情の改善に協力した。

また、物販に関しては、本センターのシンボルキャラクター「チャッキー」のキーホルダーを入れたガチャ遊具の販売を試験的に始めた。

7. オリンピック・パラリンピックレガシーの活用（大会の開催、地元行政と連携した自転車競技の振興）

オリンピック・パラリンピックレガシーの活用推進を念頭に置き、「2025 ジャパン・トラック・カップ」、「2026 ジャパン・マウンテンバイク・カップ」を始めとするトラック競技、MTB 競技の国際大会や、伊豆市「オリパラレガシー創出事業」、ふじのくにサイクルスポーツコミッション「マウンテンバイクトレーニングデイ」等のイベント開催に協力し、自転車競技の振興に努めた。

また、公益財団法人 JKA、静岡県及び周辺自治体 5 市（伊豆市、伊豆の国市、伊東市、三島市、沼津市）とでコンソーシアム「BICYCLOOP 伊豆」を立ち上げ、自転車の聖地化に向け、伊豆地域の自転車活用について、協議・推進する活動を開始した。

8. 国際自転車競技大会の受入れ及び受入れ調整

第 25 回夏季デフリンピック大会の自転車競技（ロード競技 4 日間、MTB 競技 2 日間）を 11 月に受け入れ、関係者 841 人（選手 385 人、コーチ・スタッフ 456 人）、観戦者 4,934 人（一般 3,478 人、学校招待 1,456 人）、合計で 5,775 人の入場があった。

また、第 20 回アジア競技大会・第 5 回アジアパラ競技大会の自転車競技受入れに関しては、2026 年秋の開催に向けて、大会組織委員会等と施設毎の貸切期間及び料金、営業補償、ケータリング、宿泊場所の提供等について具体的な協議・調整を行い、会場使用協定の早期締結を目指している。

9. その他

（1）地域行政等との連携

ア. 伊豆市事業への協力

市民の自転車熱を高めるとともに、市民全員が自転車に乗れることを目指す伊豆市

主催の、こども園等の園児を対象にした「ランニングバイク出前教室」を始め、伊豆ベロドローム施設見学&試乗体験や、伊豆 MTB コース体験試乗会等、様々な自転車関連イベントの開催に協力を行った。

イ. 静岡県事業への協力

静岡県が主導する「ジャパン・マウンテンバイク・カップ実行委員会」へ参画したほか、地域経済の発展を目的に、地元企業と行政とが組織する「静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会（通称：E-spo、2026 年 3 月をもって解散し、その活動は、一般社団法人スポーツコミッション Shizuoka に引き継がれる）」のメンバーとしても、スポーツと宿泊・観光を組み合わせた新しいサービスや商品の開発等に関する検討に加わった。

また、伊豆 MTB コースの活用及び MTB 競技の普及並びに静岡県民へのスポーツの場の提供を目的とした静岡県との協定に基づき、自転車競技大会の受入れや県民に対する入場割引等タイアップ事業を展開した。

ウ. 地域おこし協力隊との連携

本センターと、同所に常駐する伊豆市地域おこし協力隊が連携し、様々な自転車競技大会の受入れや、サイクルスポーツイベントの企画・運営等、オリンピック・パラリンピックレガシーの活性化を推進した。

エ. HPCJC への協力

自転車ナショナルチームの強化サポート組織である HPCJC (High Performance Center of Japan Cycling) が実施しているタレント発掘事業 (J-STAR プロジェクト) 等に協力し、HPCJC が選抜した将来有望な競技初心者に対して、技術指導を行うなど、自転車競技者強化育成の一翼を担った。

(2) 各種資格取得の奨励・支援

本センターの事業運営に必要とされる各種資格については、担当部署を問わず、その取得を積極的に奨励し、本年度においては、自転車技士試験を 1 名が受験するとともに、「日本自転車競技連盟公認第 3 級審判員」・「健康・体力づくり事業財団認定健康運動指導士」等の資格更新も行ったが、自転車技士試験においては合格に至らなかった。

なお、詳細は（別表 7）職員研修内容一覧のとおりである。

(3) 職員研修の実施

今後の事業運営に必要なレンタサイクルの導入に向け、運営課職員が関連展示会の視察を実施したほか、Photoshop や Illustrator などのデザインツールのスキル向上のため、講師を招いて勉強会を行った。

(4) 災害復旧工事の実施

令和 7 年 9 月 5 日に襲来した台風 15 号による大雨で発生したサイクル立体迷路横連絡道路沿いの崩落被害箇所については、安全確保及び被害拡大防止の観点から、緊急の対応を行い、東京 2025 デフリンピックの開催前に法面盛土復旧工事を完了した。

(5) その他

このほか、理事会・評議員会を始めとする諸会議の開催、OA 機器のシステム管理、車両の運行管理、地震・消防総合訓練、大駐車場の車両ナンバー調査などの業務を必要に応じて行った。

なお、詳細は（別表 8）諸会議開催内容一覧のとおりである。

(別表1-1) 令和7(2025)年度 月別入場者

[単位:人]

区 分	令和6(2024)年度					令和7(2025)年度					一般有料入場者 増減	
	総入場者	割 合	一般有料入場者	割 合	営業日数	総入場者	割 合	一般有料入場者	割 合	営業日数	人 数	前年比
4 月	15,215	11.3%	12,111	11.1%	24日	11,324	8.3%	9,766	8.6%	24日	△ 2,345	80.6%
5 月	18,218	13.5%	14,636	13.4%	23日	15,621	11.4%	13,826	12.2%	23日	△ 810	94.5%
6 月	8,591	6.4%	6,294	5.8%	22日	9,119	6.7%	7,056	6.2%	22日	762	112.1%
7 月	6,654	4.9%	4,727	4.3%	25日	7,971	5.8%	6,112	5.3%	25日	1,385	129.3%
8 月	15,067	11.2%	12,267	11.3%	31日	17,029	12.5%	13,382	11.8%	31日	1,115	109.1%
9 月	8,452	6.3%	5,848	5.4%	27日	8,016	5.9%	5,432	4.8%	27日	△ 416	92.9%
10 月	8,929	6.6%	7,348	6.7%	21日	5,711	4.2%	4,661	4.1%	21日	△ 2,687	63.4%
11 月	9,432	7.0%	7,667	7.0%	22日	19,197	14.0%	15,710	13.8%	22日	8,043	204.9%
12 月	10,024	7.4%	8,571	7.9%	25日	11,131	8.1%	9,498	8.3%	24日	927	110.8%
1 月	10,634	7.9%	9,351	8.6%	23日	10,536	7.7%	9,227	8.1%	23日	△ 124	98.7%
2 月	7,362	5.5%	6,022	5.5%	17日	6,395	4.7%	5,117	4.5%	17日	△ 905	85.0%
3 月	16,262	12.0%	14,122	13.0%	26日	14,692	10.7%	13,991	12.3%	25日	△ 131	99.1%
合 計	134,840	100.0%	108,964	100.0%	286日	136,742	100.0%	113,778	100.0%	284日	4,814	104.4%

※営業日数は一般営業日の日数とする。

(別表 1-2) 令和7(2025)年度 入場者内訳

[単位：人]

区 分				令和6(2024)年度		令和7(2025)年度		増 減		
				人 数	割 合	人 数	割 合	人 数	前年比	
有 料 入 場 者	入 場 券	個 人	おとな	17,126	15.7%	13,953	12.3%	△ 3,173	81.5%	
			こども	3,805	3.5%	2,946	2.6%	△ 859	77.4%	
		団 体	おとな	9,547	8.8%	15,323	13.5%	5,776	160.5%	
			こども	1,644	1.5%	2,408	2.1%	764	146.5%	
		計			32,122	29.5%	34,630	30.5%	2,508	107.8%
	とく パ ス	個 人	おとな	16,105	14.8%	13,693	12.0%	△ 2,412	85.0%	
			こども	13,479	12.4%	10,853	9.5%	△ 2,626	80.5%	
		団 体	おとな	21,037	19.3%	24,891	21.9%	3,854	118.3%	
			こども	17,172	15.8%	19,309	17.0%	2,137	112.4%	
		計			67,793	62.3%	68,746	60.4%	953	101.4%
	セ ツ ト 券	こども会	おとな	0	0.0%	0	0.0%	0	—	
			こども	0	0.0%	0	0.0%	0	—	
		スクール	おとな	336	0.3%	225	0.2%	△ 111	67.0%	
			こども	249	0.2%	112	0.1%	△ 137	45.0%	
		特 別	おとな	840	0.8%	1,005	0.9%	165	119.6%	
			こども	52	0.0%	49	0.0%	△ 3	94.2%	
		身 障 者		0	0.0%	0	0.0%	0	—	
		計		1,477	1.3%	1,391	1.2%	△ 86	94.2%	
		大会・合宿等			5,780	5.3%	7,334	6.4%	1,554	126.9%
		パターゴルフコース利用者			1,792	1.6%	1,677	1.5%	△ 115	93.6%
		一般有料入場者計			108,964	100.0%	113,778	100.0%	4,814	104.4%
		その他有料入場者			7,608	5.6%	8,258	6.0%	650	108.5%
		無 料 入 場 者			18,268	13.5%	14,706	10.8%	△ 3,562	80.5%
	入 場 者 総 合 計			134,840	100.0%	136,742	100.0%	1,902	101.4%	
	営 業 日 数 (日)			286		284		△ 2	99.3%	
	営業日における雨天日数(日)			62	21.7%	49	17.3%	△ 13	79.0%	

※令和7年12月7日のロータリークラブ地区大会 1,150人については、入場券・団体人数に計上する。

(別表 1-3) 令和7(2025)年度 施設利用者内訳

[単位: 人]

区 分	令和6(2024)年度		令和7(2025)年度		増 減	
	人 数	利用率	人 数	利用率	人 数	前年比
5キロサーキット	5,396	5.3%	4,918	4.9%	△ 478	91.1%
ファミリーサーキット	53,957	52.7%	51,246	51.2%	△ 2,711	95.0%
伊豆MTBコース	2,968	2.9%	2,542	2.5%	△ 426	85.6%
サイクルコースター	95,653	93.5%	94,007	94.0%	△ 1,646	98.3%
おもしろ自転車	95,592	93.4%	92,674	92.7%	△ 2,918	96.9%
サイクルゴーランド	56,952	55.7%	56,418	56.4%	△ 534	99.1%
サイクルモノレール	51,022	49.9%	47,136	47.1%	△ 3,886	92.4%
水上自転車	43,347	42.4%	39,489	39.5%	△ 3,858	91.1%
スカイローラー	84,607	82.7%	83,296	83.3%	△ 1,311	98.5%
サイクル立体迷路	70,034	68.5%	64,826	64.8%	△ 5,208	92.6%
室内フットサル場	2,151	2.1%	2,504	2.5%	353	116.4%
ウエイトトレーニング場	0	0.0%	0	0.0%	0	—
パターゴルフコース	2,909	2.8%	2,920	2.9%	11	100.4%
ふわふわドーム	48,798	47.7%	47,882	47.9%	△ 916	98.1%
ジャングルジム FUJISAN	34,573	33.8%	31,921	31.9%	△ 2,652	92.3%
サイクルスインガー	51,693	50.5%	51,783	51.8%	90	100.2%
サイクルジャンパー	14,182	13.9%	13,668	13.7%	△ 514	96.4%
合 計	713,834	697.8%	687,230	687.2%	△ 26,604	96.3%

参考

DAYキャンプ場 元気の森	356	0.3%	233	0.2%	△ 123	65.4%
バッテリーカー	2,436	2.4%	1,925	1.9%	△ 511	79.0%
展示ロビーコイン遊具	2,895	2.8%	4,527	4.5%	1,632	156.4%
ひかりの迷宮	8,907	8.7%	8,835	8.8%	△ 72	99.2%
水遊び広場(夏期のみ)	9,785	9.6%	9,607	9.6%	△ 178	98.2%

※展示ロビーコイン遊具は令和5年4月29日営業開始、令和6年7月30日～令和7年3月7日の間営業休止

令和7年3月8日より一部内容を変更し営業再開

※利用率は、一般来場者数(令和6年度:102,300人、令和7年度:100,001人)を基に算出

(別表2) 自転車競技大会一覧

開催月		主 　　な 　　大 　　会	主 催 団 体	参加選手
主 催	4月	CSCクリテリウムシリーズ 第1戦	日本サイクルスポーツセンター	61 人
	5月	CSCクリテリウムシリーズ 第2戦	日本サイクルスポーツセンター	44 人
	7月	Challenge The Izu Velodrome 第1戦	日本サイクルスポーツセンター	89 人
	7月	CSCクリテリウムシリーズ 第3戦	日本サイクルスポーツセンター	89 人
	9月	CSCクリテリウムシリーズ 第4戦	日本サイクルスポーツセンター	56 人
	10月	CSCクリテリウムシリーズ 第5戦	日本サイクルスポーツセンター	59 人
	11月	Challenge The Izu Velodrome 第2戦	日本サイクルスポーツセンター	111 人
	11月	CSCクリテリウムシリーズ 第6戦	日本サイクルスポーツセンター	66 人
	1月	第33回静岡県一輪車新春マラソン大会	日本サイクルスポーツセンター／静岡県一輪車連盟	122 人
	3月	CSCクリテリウムシリーズ 第7戦	日本サイクルスポーツセンター	40 人
協 力	4月	第48回チャレンジサイクルロードレース大会	日本自転車競技連盟	578 人
	4月	2025全日本学生TRS・第26回JICFカップ女子オープントラックレース大会	日本学生自転車競技連盟	87 人
	4月	2025全日本学生RRS・第25回JICFカップ女子オープンロードレース大会	日本学生自転車競技連盟	114 人
	4月	令和7年度 東京都高等学校総合体育大会自転車競技ロード競技	東京都高等学校体育連盟自転車競技専門部	73 人
	5月	令和7年度 神奈川県高等学校総合体育大会自転車競技ロード競技	神奈川県高等学校体育連盟自転車競技専門部	29 人
	5月	令和7年度 静岡県高等学校総合体育大会自転車競技ロード競技	静岡県高等学校体育連盟自転車競技専門部	50 人
	5月	2025 Japan Track Cup Ⅰ／Ⅱ	日本自転車競技連盟	529 人
	6月	令和7年度関東高等学校総合体育大会自転車競技ロード競技	関東高等学校体育連盟自転車競技専門部	144 人
	6月	第93回全日本自転車競技選手権大会ロードレース	日本自転車競技連盟	439 人
	7月	令和7年度 全国高等学校定時制通信制体育大会自転車競技トラック/ロード	全国高等学校体育連盟定時制通信制自転車競技専門部	86 人
	8月	第94回全日本自転車競技選手権大会トラックレース(エリート・ジュニア)	日本自転車競技連盟	378 人
	10月	令和7年度静岡県高等学校新人大大会自転車競技ロード大会	静岡県高等学校体育連盟自転車競技専門部	44 人
	11月	令和7年度神奈川高等学校新人大大会自転車競技ロード大会	神奈川県高等学校体育連盟自転車競技専門部	18 人
	11月	令和7年度東京都高等学校新人大大会自転車競技ロード大会	東京都高等学校体育連盟自転車競技専門部	70 人
	11月	東京2025デフリンピック大会	東京都	385 人
	12月	2025 IZU VELOトラックカーニバル(Kid's～マスターズ)	静岡県自転車競技連盟	175 人
	12月	2025東京都選手権ロードレース大会	東京都自転車競技連盟	53 人
	1月	2026東京都ウインターロードレース第1戦	東京都自転車競技連盟	41 人
	3月	2026東京都ウインターロードレース第2戦	東京都自転車競技連盟	56 人
	3月	令和7年度全国高等学校選抜自転車競技大会	全日本高等学校体育連盟自転車競技専門部	172 人
	3月	2026 JAPAN MOUNTAINBIKE CUP Shizuoka,Japan	ジャパン・マウンテンバイク・カップ実行委員会	261 人

<主催大会>

13大会:1,336人参加(5キロサーキット、伊豆ベロドローム)

※前年度実績11大会:750人

<協力大会>

24大会:3,807人参加(5キロサーキット、伊豆ベロドローム、伊豆MTBコース、400メートルピスト)

※前年度実績22大会:2,835人

(別 表 3) 自転車スクール及び競技指導内容一覧

区 名	内 容	参加人数
小学生のための 自転車教室	自転車に乗れない小学生を対象にした日帰りの教室 3回開催(第123回 :1月 ~ 第125回 :3月)	40人
女性のための 自転車教室	自転車に乗れない女性を対象にした1泊2日の教室 4回開催(第334回 :9月 ~ 第337回 :3月) ※第336回:12月は最小催行人数に達せず中止	18人
MTBスクール	MTBヤングキャンプ 1回開催(12月) 参加者13名	13人
自転車競技者に対する 指導業務	JKA主催トラックサイクリングキャンプへの協力 ・トラックサイクリングキャンプ in 伊豆(8月) 1回開催 選手12名	12人
	静岡県自転車競技連盟強化事業への協力 ・初心者ユーストラックキャンプにおける指導 1回開催(12月) 選手18名、指導者2名	20人

(別表4) イベント開催内容一覧

イベント名		開催日	主な内容	
自転車普及イベント	週末イベント	令和7年4月5日(土) ～令和8年3月29日(日)	おもしろ自転車レース・ドリフト自転車レース イージーローラー絆レース キャラクター探索イベント サイクルモノレールタイムアタック 水上自転車タイムアタック 立体迷路探索イベント マシュマロ焼きイベント E-BIKE体験試乗会 サイクルスインガーイベント	79日 2,203人 50日 66人 8日 275人 22日 1,167人 21日 527人 18日 1,493人 34日 33人
	ゴールデンウィークイベント	令和7年4月29日(火・祝) ～同 5月5日(月・祝)	餅まき・お菓子まき テレビヒーローショー	1日 350人 2日 1,470人
	一輪車競技大会 ～共催～	令和7年6月15日(日)	第9回静岡オープン駅伝大会	1日 130人
		令和7年9月28日(日)	第20回CSC3時間耐久一輪車レース大会 (チーム対抗)	1日 216人
		令和8年1月4日(日)	第33回 新春静岡県一輪車競技大会 (5kmマラソン)	1日 129人
		令和8年2月1日(日)	第11回静岡オープン駅伝大会	1日 190人
	夏季イベント	令和7年8月14日(木) ～ 同8月16日(土)	お笑いライブショー	3日 1,280人
	ハロウィンイベント	令和7年10月11日(土) ～ 同11月30日(日)	園内に隠されたゴースト探索	51日
	秋季イベント	令和7年10月13日(月・祝) ～ 同11月2日(日)	餅まき・お菓子まき テレビヒーローショー	1日 360人 1日 680人
	新春イベント	令和8年1月2日(金) ～ 同 1月3日(土)	新春運試し抽選会 新春開運餅まき大会	1日 201人 2日 770人
	春季イベント	令和8年3月21日(土) ～ 同 3月29日(日)	お笑いライブ バルーンショー	2日 1,300人 1日 200人
その他	マラソンイベント	令和7年12月21日(日)	第17回伊豆サンタマラソン	1日 253人

(別表5) 自転車競技体験プログラム一覧

開催日	主 な 内 容		
令和7年4月14日(月) ～令和7年5月16日(金)	競技用自転車を利用した他スポーツ実施者へのクロストレーニング トヨタ自動車スケート部(ショートトラック: 2回) 10人	9日	90人
令和7年5月23日(金) ～令和8年2月27日(金)	伊豆市機運醸成事業「ランニングバイク出前教室」 伊豆市内各こども園及び保育園(7か所)	7日	95人
令和7年9月30日(火) ～令和8年3月27日(金)	みしまジュニアスポーツアカデミー10期生への指導協力 ・ワットバイクセッション(1回) 10人 ・競技体験(JKA250、3回) 21人	4日	31人
令和8年1月13日(火) ～令和8年2月27日(火)	静岡県立伊豆総合高等学校ライフスポーツ授業 選択希望者: 2年生 19人(実習回数 5回) (伊豆ベロドロームでのトラック競技実習)	5日	87人
令和8年2月21日(土) ～令和8年2月23日(月・祝)	Jスター タレント発掘プロジェクト 第3期生 トラック体験 (伊豆ベロドローム・5キロサーキットでの競技体験)	5日	75人
令和7年8月11日(月・祝) ～令和8年2月19日(木)	ワッバイクを利用したクロストレーニング 広島市内他スポーツ実施者 1回 11人 相川学園静清高等学校 1回 22人 広島進徳高等学校 女子バスケットボール部・卓球部 1回 14人	7日	47人

(別表6) 広報宣伝活動内容一覧

媒体名		内 容		
広 告	テレビ	静岡第一テレビ、静岡朝日テレビ、静岡放送、テレビ静岡 15秒スポット	4局	237本
	新聞	静岡新聞、伊豆新聞、伊豆日日新聞、熱海新聞	4紙	11回
	雑誌	伊豆時間(伊豆新聞発行)、はなつーしん(FMIZ発行)他	3誌	6回
	看板	伊豆箱根鉄道・駿豆線(修善寺駅構内看板)	2面	12ヵ月
		伊東マリンタウン(観光案内看板)	1基	12ヵ月
	その他	クーポン冊子(ハッピークーポン、ハロートラベル伊豆)	2誌	4回
パ ブ リ シ テ ィ	自 転 車 競 技 関 係	テレビ	日本テレビ、テレビ東京、テレビ静岡、静岡第一テレビ他	7局 20回
		ラジオ	FM伊豆、ボイスキュー	2局 22回
		新聞	静岡新聞、伊豆日日新聞、サンケイスポーツ他	4紙 13回
		雑誌	Number	1誌 1回
		インターネット	More CADENCE他	2媒体 3回
	施 設 紹 介 ・ イ ベ ン ト	テレビ	日本テレビ、BSよしもと、静岡第一テレビ、静岡朝日テレビ他	5局 6回
		新聞	静岡新聞、伊豆日日新聞	2紙 15回
		雑誌	地球の歩き方、まっふる伊豆、るるぶこどもとあそぼ!首都圏他	7誌 7回
		インターネット	ウォーカープラス、Tver	2媒体 2回

(別表7) 職員研修内容一覧

研 修 名		回 数	参 加 者
資 質 向 上 研 修	ロードレース大会会場視察(8月)	1回	役員、事務局長(2名)
	新規自転車導入に伴う関連展示会視察(10月)	1回	事務局長、運営課担当者(2名)
	ロードレース大会会場視察(10月)	1回	役員、事務局長(2名)
取 資 得 格	自転車技士(7月) ※不合格	1回	運営課担当者(1名)
一 般 研 修 会 ・ 講 習 会	デザインツールのスキル向上講習(4月～3月)	14回	運営課長(1名)
	遊戯施設の運行管理者・運転者等講習会(4月)	1回	運営課担当者(4名)
	安全運転管理者等講習会(10月)	1回	総務部次長(1名)
	アーク溶接等業務特別教育(10月・1月)	2回	事業部次長、運営課担当者(3名)
	健康運動指導士資格更新必要単位取得可能講習(8月)	1回	事業部次長(1名)
講 師 派 遣	HPCJC主催 J-STARプロジェクトタレント発掘事業NFプログラム(5月)	1回	事業部次長、競技振興課競技担当者(2名)
	(公財)JKA主催「トラックサイクリングキャンプ in 伊豆」(8月)	1回	事業部次長、競技振興課競技担当者(2名)
	たちかわ競輪オータムフェスティバル2025(10月)	1回	事業部次長、競技振興課競技担当者(2名)
	(公財)JKA日本競輪選手養成所講義 「東京オリンピック会場である伊豆ベロドロームの補助金の活用について」(10月)	1回	事務局長(1名)
	静岡県自転車競技連盟 令和7年度上級指導者確保・養成事業指導者実地研修会(12月)	1回	事業部次長(1名)
	静岡県自転車競技連盟令和7年度ジュニア強化支援事業 「初心者トラックトレーニングキャンプ」(12月)	1回	事業部次長(1名)
	HPCJC主催 J-STARプロジェクト(2月)	1回	事業部次長、競技振興課競技担当者(計2名)
	(公財)JKA主催 日本競輪選手養成所候補生の社会貢献事業(2月)	1回	事業部次長、競技振興課競技担当者(計2名)
各 種 訓 練	地震・消防総合訓練(6月、1月)	1回	職員・保守管理業者(6月31名、1月30名)
	サイクルコースター救出訓練及び緊急連絡訓練(2月)	1回	事業部次長、運営課長 運営課担当者(6名)
	サイクルモノレール救出訓練及び緊急連絡訓練(2月)	1回	事業部次長、運営課長 運営課担当者(7名)
	5キロサーキット救護及び緊急連絡訓練(3月)	1回	事業部次長、運営課長 運営課担当者(7名)

(別表8) 諸会議開催内容一覧

会議名	開 催 内 容
理 事 会	第44回理事会（令和7年6月11日） （議案第1号）令和6(2024)年度事業報告について （議案第2号）令和6(2024)年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び同附属明細書並びに財産目録について （議案第3号）令和6年度公益目的支出計画実施報告について （議案第4号）第32回評議員会への提案について （議案第5号）令和7(2025)年度公益財団法人JKA補助事業の実施について （職務執行報告） 今期の有料入場者の推移について 来場者動向調査の結果について
	第45回理事会（令和8年3月11日） （議案第1号）令和8(2026)年度事業計画について （議案第2号）令和8(2026)年度収支予算について （議案第3号）「役員賠償責任保険」への加入について （議案第4号）第33回評議員会の招集について （職務執行報告） 今期の有料入場者の推移について オリパラ休業前後の一般有料入場者の月別推移について 来場者動向調査の結果について
評 議 員 会	第32回評議員会（令和7年6月30日） （議案第1号）令和6(2024)年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び同附属明細書並びに財産目録について （議案第2号）評議員の補充選任について （報告事項1）令和6(2024)年度事業報告について （報告事項2）令和6年度公益目的支出計画実施報告について （報告事項3）令和7(2025)年度公益財団法人JKA補助事業の実施について
	第33回評議員会（令和8年3月26日） （報告事項1）令和8(2026)年度事業計画について （報告事項2）令和8(2026)年度収支予算について
常 勤 役 員 会	第1回常勤役員会（令和7年5月27日） （議案第1号）令和6(2024)年度事業報告について （議案第2号）令和6(2024)年度決算報告について
	第2回常勤役員会（令和7年7月18日） （議案第1号）令和8年度JKA補助要望について
	第3回常勤役員会（令和7年8月22日） （議案第1号）令和8年度JKA補助要望について
	第4回常勤役員会（令和7年12月23日） （議案第1号）令和8年度営業計画について
	第5回常勤役員会（令和8年1月27日） （議案第1号）令和8年度営業計画について （議案第2号）令和8年度事業計画並びに収支予算の骨子について （議案第3号）2025年度JKA補助事業自己評価について
	第6回常勤役員会（令和8年2月24日） （議案第1号）令和8年度勤務計画について （議案第2号）サイテルの料金改正について
	第7回常勤役員会（令和8年3月3日） （議案第1号）令和8(2026)年度事業計画について （議案第2号）令和8(2026)年度収支予算について
そ の 他	役職員懇談会 (5回開催:令和7年4月～令和7年11月)
	管理職会議 (5回開催:令和7年4月～令和8年1月)
	営業施設の安全対策委員会 (14回開催:令和7年4月～令和8年3月)
	防火管理委員会 (2回開催:令和7年6月、令和8年1月)
	公益財団法人JKA伊豆事業所との定例連絡会 (12回開催:令和7年4月～令和8年3月)